

令和5年度 鯖江市鳥羽小学校スクールプラン

【学校教育目標】

社会の一員として 共に生きる力の育成

【校訓】
やさしく
かしこく
たくましく

【めざす教師像】

- 自ら学び続け、**挑戦**する教師
- 児童・保護者・地域から**信頼**される魅力ある教師
- 協働・共有**を推進し、ともに高めあう教師

【めざす子ども像】

途中であきらめずがんばる子 ばっちり聞いて伝える子 残さず食べて強い体をつくる子 心通わせ友達思いやる子 誰にでも進んで挨拶できる子

と

ば

の

こ

だ

【研究主題】

自他ともに大切にし、多様な価値観を認め合う児童の育成

【重点目標】

【確かな学力の向上】

<さとし部会>

基礎学力の定着と**学びに向かう力**の育成

【豊かな心の育成】

<ゆかし部会>

規範意識や**自己肯定感**の育成

【たくましく健やかな体の育成】

<つよし部会>

健康教育と**体力の向上**

【信頼される学校づくり】

家庭・地域との連携

【今年度の具体的な取組】

- 基礎基本の定着を目指したわかる授業づくり
 - ・授業のUD化を徹底する。
 - ・ICT機器の効果的活用法を工夫する。
 - ・教科担任制を推進する。
- 活用する力を伸ばす指導の工夫【**対話的な学びの充実とコミュニケーション力の育成**】
 - ・思考力・表現力を伸ばすために、**ペア学習**や**グループ学習**など、学習形態を工夫する。
 - ・**語彙力の向上**をめざす指導をする。
- 学びに向かう力**の育成
 - ・主体的に学習する力を伸ばすために、「**自主学習ノート**」の効果的な活用を進める。
 - ・発達段階に応じた「**振り返り**」を工夫する。

- 子どもの居場所がある学級経営
 - ・共に生活するための**ルールを遵守**する意識を高めるとともに、**いじめを見逃さない風土**を作る。
 - ・アンケートや教育相談を活用し、いじめ・不登校の未然防止・早期対応に努める。
 - ・SCやSSW、外部機関と**連携**する。
- ポジティブ教育の推進
 - ・**道徳や特別活動を軸**として、**自己肯定感**を高める教育活動を実践する。
 - ・**SST**と並行し、ねばり強い心を育てる**レジリエンス**教育プログラムを実践する。
- 自他を尊重する**共生教育の推進
 - ・行事を中心として、仲間づくり(**ピアサポート**)を意識し縦割り班活動を工夫する。
 - ・読み聞かせ等**異学年交流**を活性化する。
 - ・伝統となる**無言清掃**を徹底する。

- 基本的生活習慣の確立
 - ・お便りや教育懇談を通して家庭と連携し、**規則正しい生活習慣**の定着を図る。
 - ・正しい**姿勢を習慣化**する。
- 健康教育と食育の推進
 - ・**給食畑**を中心とした体験活動を通し、食に関する指導する。
 - ・家庭と連携して、正しい**はしの持ち方**を指導する。
- 体育の授業や業間体育の充実
 - ・体力や技能の向上に**効果的な学習法**、スキル・ドリル練習などを**提案・共有**する。
 - ・「**体力づくり推進計画書**」を工夫し、学年による**系統的な実践**をする。

- 積極的な情報発信と学校公開
 - ・HPや各種たよりを通して、学校や児童の活動に関する**情報を積極的に発信**する。
 - ・様々な学校行事を保護者や地域に積極的に**公開**して、開かれた学校をめざす。
- 安心・安全に向けた取り組み
 - ・感染症対策を配慮し、衛生環境を保持する。
 - ・PTAや地域と連携して、登下校時の**見守り活動の充実**を図る。
- ふるさと教育の推進
 - ・郷土愛を育てるために、**地域や関係機関と連携**しながらふるさと学習を進める。
- 幼保・中学校との連携の推進
 - ・幼保・中学校との連携を強化することで、**円滑な接続**と深い**児童理解**へとつなげる。

- ・「授業がわかる」と答える児童:90%以上
- ・授業のUD化に取り組む教員:100%
- ・自分の思いや考えを表現する活動に意欲的に取り組む児童:80%以上
- ・自主学習ノートの取り組み目標達成児童:80%以上

- ・学校が楽しいと答える児童:95%以上
- ・自他ともに大切にしている児童:90%以上
- ・異学年集団での活動を楽しめた児童:90%以上

- ・規則正しい生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)を守れた児童:90%以上
- ・県体力・運動能力調査で県平均を上回る項目:50%以上

- ・学校の取り組みに満足する保護者:90%以上
- ・ふるさと鯖江を大切に思う児童:90%以上

<業務改善> ・ノー残業デー(毎週水曜日)の実践 ・校務支援システムや入力フォームの有効活用、お便り等の電子配信 ・学校行事や会議等の内容の精選 ・教材や教具・指導法等の共有化